

第125号

早稲田大学校友会東久留米稲門会

令和4年 9月10日発行 発行責任者 高橋 哲男 編集責任者 片平 るみ

E-mail:bente-takahashi@jcom.home.ne.jp http://higashikurume-toumonkai.com/ 事務局 大矢 真弘 Tm042-475-8532

秋の懇親会のご案内

東久留米稲門会 会長 高橋哲男

現在このご案内を作成しているのは、8月下旬で酷暑が続き、新型コロナウィルス第七波の収束の 見通しは立っていませんが、日本社会における生活はニュー・ノーマルに移行しつつあるかと思いま す。会員及び校友の皆様はご清祥にお過ごしのことと存じます。日頃、稲門会をご支援いただきありが とうございます。

コロナウィルスの収束を基に秋の懇親会をご案内させていただきます。多くの会員及び校友の参加を お願い申し上げます。詳細は別添チラシをご覧下さい。

催物として東京都消費生活総合センター主催の消費問題に役立つ出前寄席を2組開催する予定です。 尚、申込については、コロナ禍で中止せざるを得ない場合連絡するに便利である事務局宛のメールを極 力お使いなさるようにお願いします。

会の告知板

【部会等の予定】

| 9月13日 (火) | ウォーキングさきたま古墳・忍城址 | 9:00 | 東久留米駅集合 |
|------------|-----------------------|----------|---------------------|
| 9月15日 (木) | グルメ部会「うまや」 | 10:15 | 東久留米駅集合 事前申込者のみ |
| 10月02日(日) | 第3回役員会 | 14:00 | 成美教育文化会館 |
| 10月11日 (火) | ウォーキング 行き先未定 第1案早稲田大学 | 全東伏見キャンハ | ゙ス他 第2案高山不動尊・関八州見晴台 |
| 10月18日 (木) | 東久留米稲門会秋のコンペ | | 玉村ゴルフ場 |
| 11月03日(木) | 秋の懇親会 | 14:00 | 成美教育文化会館 |
| 11月21日 (月) | 三田会との合同コンペ | | 熊谷ゴルフ場 |
| 11月22日 (火) | 郷土研究会「郷土の施設を訪ねてみ | みませんだ | ウン」9:15 バス停「団地センター」 |
| 12月04日(日) | 第4回役員会・忘年会 | 16:00 | 生涯学習センター |
| 1月14日(土) | ニューイヤーコンサート | 15:00 | 武蔵野音大ベートーヴェンホール |
| 1月15日(日) | 新年会 | 14:00 | 成美教育文化会館 |
| 1月29日(日) | 第5回役員会 | 16:00 | 生涯学習センター |
| 3月02日(木) | 映画鑑賞会「第67回鉄道員」 | 14:00 | 成美教育文化会館 |
| 4月02日(日) | 臨時役員会 | 16:00 | 生涯学習センター |
| 4月16日(日) | 総会 | 14:00 | 成美教育文化会館 |

<各部会定例活動一覧> ※コロナ禍により変更の可能性があります。

| 、日的公人(V)日第一元 第一 7 間(CS / 文人(V) 1 旧上が (V) (S) 6 | | | | | | | | |
|-------------------------------------------------|----|---|-------------|-----------|----|---|-------------|-----------|
| 部 会 | 9月 | | | 10月 | | | | |
| | 日 | 曜 | 時間 | 場所 | Ш | 曜 | 時間 | 場所 |
| 女性サークル | 8 | 木 | 10:00 | 中央町地区センター | 13 | 木 | 10:00 | 中央町地区センター |
| 書 道 | 11 | 目 | 13:00 | 中央町地区センター | 9 | П | 13:00 | 生涯学習センター |
| 俳 句 | 18 | 金 | 13:00 | 生涯学習センター | 14 | 金 | 10:00 | 生涯学習センター |
| 囲碁 | | | | 中止 | | | | 中止 |
| | 3 | 土 | 10:00~12:00 | 成美教育文化会館 | 15 | 土 | 10:00~12:00 | 成美教育文化会館 |

| 太極拳 | 10 | 土 | 10:00~12:00 | 成美教育文化会館 | 22 | 土 | 10:00~12:00 | 成美教育文化会館 |
|--------|-----|---|-------------|--------------|-----|---|-------------|--------------|
| | 24 | 土 | 10:00~12:00 | 成美教育文化会館 | 29 | 土 | 10:00~12:00 | 成美教育文化会館 |
| バドミントン | 毎週金 | | 10:50~ | 東久留米スポーツセンター | 毎週金 | | 10:50~ | 東久留米スポーツセンター |
| ソフトボール | 5 | 月 | 11:00-13:00 | 南町運動広場 | 17 | 月 | 11:00-13:00 | 南町運動広場 |
| | 26 | 月 | 11:00-13:00 | 南町運動広場 | 31 | 月 | 11:00-13:00 | 南町運動広場 |

【大学・校友会関係】

(1) 秋季代議員会 9月24日 (十) 早稲田大学 (2) 稲門祭実行委員会 9月30日(金) 早稲田大学 (3) 稲門祭 10月23日(日) 早稲田大学 (4) 小平稲門会 11月12日(土) ルネ小平

(5) 東村山稲門会 11月20日(日) サンハ゜ルネ・コンヘ゛ンションセンター

(6) 商議員フォーラム 12月03日(土) 早稲田大学 (7) 春季代議員会 3月04日(土) 早稲田大学

◎第2回役員会報告

日 時 : 2022年7月31日(日) 16:00-17:30

場 所 : 生涯学習センター 学習室2

出席者。高橋、吉田、小野、片平、山口、清水、河村、前川、金子、有賀、山岡、平山 梶井、吉川、大矢

高橋会長から開会の挨拶の後、以下の事項について報告や意見交換が行われた。

1 大学・校友会・近隣稲門会・三田会関係

(1) 商議員会 $7/9 \ (\pm)$ オンライン 高橋・大矢 (2) 三多摩会長会

7/24 (日)

(3) 三多摩支部大会 9/4 (日) 13:30~16:30 ホテル日航立川 会費 2,000円

<参加予定者:高橋・小野・山口・河村・梶井・大矢>

オンライン

高橋・大矢

(4) 秋季代議員会 $9/24 (\pm)$ 早稲田大学 小山田・山口

金子・片平 (5) 稲門祭実行委員会 9/30 (金) 早稲田大学

(6) 早大稲門祭 10/23 (目) 早稲田大学 金子・片平

(7) 小平稲門会 $11/12 \ (\pm)$ ルネ小平

(8) 東村山稲門会 11/20 (日) サンハ゜ルネ・コンヘ゛ンションセンター

(9) 商議員フォーラム 12/3 (土) 早稲田大学 高橋・大矢

(10) 春季代議員会 $3/4 \ (\pm)$ 早稲田大学 小山田・山口

2. 秋の懇親会

- (1)「成美教育文化会館」 3 階大研修室 (13:00~16:30 予約)
- (2) 実施日程

11月3日 (木) 14:00-16:00

(3) 案内対象先

会員並びに一般校友・・・20代~40代の校友を招待する。 <組織強化費のため>

(4) 実行委員

担当:吉田副会長

(5) 実行委員打合せ会



10 月の役員会時に決めるが、吉田副会長より、アトラクションとして大学の落語研究会に依頼したらど うかとの提案があった。

3. 会費納入狀況等

未納会員等の件

127名の納入あり。9月に再督促状を出すこととする。また、高齢の方の会費免除等も検討したらどう かとの提案があり、年齢構成をみて次回役員会にて検討することとした。

- 4. 2022 年度会員名簿印刷等について
- (1) 会員氏名、各部会長等の確認
- (2) 発行は総会が1か月遅かったことに伴い9月とする。
- 5. 広報関係
- (1) ホームページ
- (2) 東稲ニュースー記事の募集、印刷日時等

原稿締切:8月25日(木)

印刷日:9月9日(金)15:00~ 生涯学習センター 印刷室 *綴じ込み等 16:00~ 生涯学習センター 学習室4

- 6. 組織強化補助金20万円の申請について
- (1) 稲門祭記念品購入の件

158,000 円 (目標額 14 万円) 7/31 現在

- (2) 稲門祭へふるさと賞の寄付(柳久保かりんとう400円 50箱)・・10月初旬に送る
- (3) 体育関係部への寄付5万円 今年度はボクシング部(2022年度) とした。 次年度は「競走部」とする。
- 7. 今後の行事予定
- (1) 今後の役員会

10/2 (日) $\cdot 12/4$ (日) $\cdot 1/29$ (日) <2/5 (日) を変更> $\cdot 4/2$ (日)

- (2) 忘年会は、12/4(日) 会場未定
- (3) 新年会は、1/15(日) 14:00より成美教育会館3階大研修室・・・予約済 案内は会員のみで良いか、新会員募集のため50代~70代にも案内するか後日検討。
- (4) 次年度総会は、2023年4月16日(日) 成美教育会館・・・予約済 < 講演会 or 演奏会をどうするか、今後検討 >
- 8. 映画鑑賞会

9月29日(木)「鉄道員」の上映を予定だったが延期とし、次回は2023年3月2日(木)とする。

9. マグカップ購入の件

50 個注文したが、諸物価高騰のため購入金額変更 67,600 円 → 78,700 円となった。

- 10. サークル・部会関係
- ①女性サークル ②ゴルフ
- ③囲碁

4) 俳句

⑤書道

⑥太極拳

(7)グルメ

⑧郷土研究 ⑨ウォーキング&山歩き

10カラオケ

①スポーツ観戦

迎諸芸術鑑賞

③旅行同好会(部会長募集中)

⑭バドミントン ⑮マグカップの会 ⑯ソフトボール

・次回役員会について

2022年10月2日(日)16時より、生涯学習センターの予定

大矢 真弘 記

◎商議員会報告(オンライン)

早稲田大学の2022年商議員会が7月9日(土)14時よりオンラインで開催された。 亀井淳商議員会長の挨拶の後、6 月に再選された田中愛治総長から 2 期目にあたり、学生が輝く早稲 田大学でありたい。現在18歳人口は120万人程度いるが、2050年には81万人になる。大学への進学 者数は50%程度なので厳しい状況になるが、2040年には日本で一番、2050年にはアジアで一番学ぶ価 値のある大学にしたい。 文理の融合、知性・感性・理性を大事にし、世界に貢献できる大学にしていき たい等の話があった。

引き続き、議事に入り商議員会 2021 年度収支決算と 2022 年度予算の説明があり承認され、大学の財 務状況の報告、学事報告として林泰弘理工学術院教授による『「最先端研究×人材育成×キャンパス」の 三位一体によるカーボンニュートラル実現への展開』の講演があった。

最後に早稲田大学への応援基金への支援のお願いがあり、閉会した。

大矢 真弘 記

◎三多摩支部会長会(総会)報告(オンライン)

2022 年度東京三多摩支部会長会(総会)は、2022 年7月24日(日)に14時より15時30分まで WEB会議で開催された。

小林支部長開会挨拶、出席者(48名)紹介後、大島早 稲田大学校友会常任幹事来賓挨拶

議事について

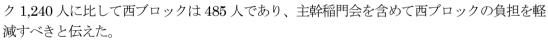
第1号議案 2021年度事業報告並びに決算・監査報告

第2号議案 2022年度支部役員選出

第3号議案 2022年度事業計画並びに予算案 第4号議案 次期(2023年度) 主幹稲門会選出

その他

(1)三多摩支部の今後の運営について 支部長複数年制については、主幹稲門会(前)八 王子・日野(現)立川・国立(次)・小金井・国 分寺で協議して行くことになった。発言の機会 を得たので会員数東ブロック 1.404 人南ブロッ



- (2)稲門祭「サロン・ド・三多摩」出店について 新宿保健所の指導で飲食が禁止となり、出店は中止。コロナウィルス感染だけでなく今後も 飲食は禁止の予定。
- 三多摩支部大会について (3)

2022年9月4日(日)13:30~16:30 ホテル日航立川 参加費2,000円 催しは、モダンジャズの演奏 日本のラクビー発祥地横浜フットボールクラブについて小林 正幸氏と外人2名の対談 別途案内の予定で動員協力依頼 扇田副支部長閉会挨拶

哲男 記

部会だより【活動報告】

<俳句部会>

第263回 7月17日(日)

兼題: 茄子 夏の夜 他当季雑詠二句

<高点句>

木漏れ陽の小さな虹を抱きけり 三浦洋子 木の葉舟蟻一匹のお客さま 川島知子 ひと雨に草木洗われ冷奴 大久保泰

<自選一句>

客退いてひとり夕餉の焼き茄子 夏の夜の海の匂いの風の音 桐の花人生時におもしろし リス疾る瞬きの間に霧のなか 空蝉や我も脱ぎたやうだる夜 夏の夜や隣の明かりまだ消えぬ 夏の夜やチェロのソナタを旅枕 第264回 8月21日(日)

兼題:カンナ 残暑 当季雑詠二句

<高点句>

スパニッシュ踊るドレスか赤カンナ 馬場清彦 まず兄が蛍の闇に消へにけり 片平るみ

大久保泰司 <自選一句>

比護喜一郎

片平るみ

杉本達夫

横田慧子

馬場清彦

本間信一

橘優治

廃線の錆びた線路や秋暑し 三浦洋子 川縁を我が物顔のカンナかな 川島知子 京菓子の懐かしき味残暑かな 本間信一 帆船の通う島並夏が往く 比護喜一郎 はるかなる旅していたら昼寝覚め 大久保泰司 手放せし書を懐かしむ夜の秋 杉本達夫 三尺寝本の余韻を枕とす 橘優治 浜静かもとにもどりて残暑の夕 横田慧子





ソフトボールをキャッチボールからしましょうと渡辺さんから声を掛けられました。 練習

日は原則月曜日、場所はイオンの先の南町の市営グランド。月曜日はゴルフのホームコースも休みだし 比較的空きが多いのでと参加することにしました。確か昔の社内大会で使ったグローブが有ったはずと 押し入れの奥から干からびてかちかちになったグローブを探し出しての参加です。

昭和 40 年代入社当時の社内大会は部対抗と称して野球、サッカー、バレー、バスケット、水泳、ボートと年間を通じて総合点を争う盛んなもので若手社員は何にでも駆り出されていたのです。その当時のグローブですから相当の時代物。参加してみたら渡辺部会長が何から何まで道具も揃えていてくれてい



て時代物のグローブは全く必要ありませんでした。

最初はボールも満足に投げられず少々ガッカリしましたが回を重ねるうちに楽しさも増してきました。バッティングも 2 組に分かれての T ボールゲームも楽しいのですが今一番気に入っているのが練習の最初にするキャッチボールです。一球一球身体の軸とバランスをチェックしながら相手の胸めがけて上半身を柔らかく使って良い球を投げられると気持ちよく、上達の度合いも確認できる気がします。またキャッチボールの楽しさは相手のボールを捕球するのも楽しいもので良い球が来ると思わず「ナイスボール」と声を掛けたくなります。投げて捕って、投げて捕ってのキャッチボールをしているとその相手とより親密になってくるような気がしてくるのが不思議ですし楽しいところです。先日不覚にも右膝を捻ってしまいました。お陰様で無事ゴルフもできるように快復しましたがこの年になるとやはり怖いのは怪我です。これからも無理をせず充分怪我に注意してより多くの皆さんとのキャッチボールを楽しみたいと思っています。そして時代物のグローブを手始めに本気で断捨離も行わなくてはと思っている昨今です。

<スポーツ観戦部会>

秋季野球早慶戦の日程が11月5,6日と発表されましたが、8月24日時点で大学野球連盟から入場者数の制限・料金は発表されておりません。残念ですが、今秋も集合しての観戦を見送ります。

悪しからずご了承下さいますようお願い致します。

山口 謙二 記

<書道部会>

残暑がまだ厳しかった 8 月 27 日 (土)、平山正徑書道部長が役員としても関わっており、出品もしている「第 38 回読売書法展」(於:国立新美術館)を鑑賞してきました。

私は初めての参加であったが、読売書法展とは昭和59年に伝統と古典に基づいた書の継承と発展をめざして始まったもので、今回は約二万点の力作が集まり、全国八会場(東京、関西、中国、北海道、四国、東北、中部、九州)を巡回する、国内最大規模の公募展とのことでした。

私の拙い書のレベルアップにつながればとの淡い期待もありましたが、レベルが高すぎて、何という文字が書かれているかも不明で、作品のパワーに圧倒されました。しかし、文字の大小、強弱、濃淡等のバランスが良く、漢字とひらがなの文字の魅力を改めて感じることができました。

鑑賞後は地元東久留米に戻り、いつものように反省会。書も料理も美味しいもの、より良いものを体験す



ることが大切だとは知りながら、質よりも量と値が優先の店で楽しい週末の夜を過ごしました。 書道部は新会員を募集しております。未経験の方、大丈夫です!墨汁の香りも良いものです!! 大矢 真弘 記

部会だより【今後の予定】

<郷土研究会>

約10年ぶりの郷土研究会のご案内です。晩秋の郷土の施設を訪ねます。

日 時 11月22日(火) 9時15分

集合地 バス停団地センター (滝山病院側) 東久留米駅からは 8 時 48 分滝山営業所行ですと余裕を もって集合できます。

行程 9時15分バス停団地センターに集合

9時25分滝山郷十資料室9時30分~スタッフ説明付きで30分見学

10時20分東京ガスミュージアム10時30分~説明付きで1時間見学

11時40分~12時20分白山公園か滝山公園で昼食

多摩六都館まで、徒歩 45 分ですが、団地センターから花小金井駅行のバスでバス停新青梅街 道徒歩 15 分も利用できます。

13 時~15 時 多摩六都科学館自由見 学

15 時解散予定

徒歩 15 分バス停新青梅街道か ら東久留米駅打上げ予定

徒歩 10 分バス停西原グリーン ハイツからひばりヶ丘駅

費 用 各自の交通費及び多摩六都館入館券 3種 520 円、1,040 円、1,460 円

持 物 食事及びシート

東京ガスミュージアム

申 込 高橋宛 Mail bente-takahashi@jcom.home.ne.jp

電話 090-4363-2829 042-474-2366

(中止の場合、連絡に備えて極力 Mail での申込にご協力お願いします)

申込期日各館への連絡のため10月31日(月)までにお願いします。

風雨、新型コロナウィルスにより、中止の場合は参加者に連絡の上改めて令和5年3月 に開催ご案内する予定です。

高橋 哲男 記(詳細はチラシ参照)

<ウォーキング&山歩き部会の活動予定>

9月13日(火) 9:00東久留米駅改札口集合 (往路:新秋津→武蔵浦和→大宮→吹上)

行先:さきたま古墳、忍城址(埼玉県行田市)☆市街地歩行(距離 7~8 km)

10月11日(火)第1案:早稲田大学東伏見キャンパス、下野谷遺跡、東伏見神社、他

第2案: 西吾野駅から高山不動尊→関八州見晴台 ★標高差 500mを登るハイキング

11月22日(火)郷土研究会の行事を後援

行先:東京ガス会館他 詳細は郷土研究会のお知らせを参照下さい。

◎行く先等のご希望がありましたら、下記宛にお知らせ下さい。

★実施詳細はメールでお知らせします。参加実績のない方はメールアドレスの登録がありませんの

で、参加ご希望の方は以下宛に、メールアドレス or FAX 番号をご通知下さい。 (e メール or SMS メールを希望)

宛先: toshi-tokai@kvj. biglobe. ne. jp 携带 080-1205-9494 Fax: 042-473-8566

部会長 東海 俊孝

<早稲田大学ニューイヤーコンサート>

来年度の早稲田大学オーケストラのニューイヤーコンサートの日程が決まりましたので、ご案内致します。

日時 2023年1月14日(土) 14:00 開場 15:00 開演 会場 武蔵野音楽大学 ベートーヴェンホール

西武線江古田駅北口 徒歩4分

指揮 曽我大介 ソプラノ 高橋唯

楽曲 スメタナの「わが祖国」よりモルダウ ヨハンシュトラウス 皇帝円舞曲 等

*練馬文化会館は改修工事の為会場が変更となりました。 このベートーヴェンホールは良質の音響効果を誇るホール ですが、客席は900と例年より少ない為約(2/3)、A席

3500 円のみの販売となります。チケット販売は11月ですが、席確保の為早めに予約したいと思いますので、鑑賞希望者は下記まで申し込み下さい。

携帯 090-7251-0648

メール t_ono_1120@yahoo.co.jp

小野 泰右 記

東稲広報室

くちょっとしたお知らせ>

去る8月4日、当会の会員で、編集委員でもある有賀千歳さんの投稿が、東京新聞の「発言」欄に掲載されました。「実力伯仲 大相撲楽しみ」というキャプションも付けられています。皆さまもどうぞ投稿をお読みになってください。(片平)

2022年8月4日朝刊東京新聞「発言」より

「実力伯仲 大相撲楽しみ」

最近の大相撲は面白い。横綱から前頭上位まで力士の力が均衡しているからだ。要するに力の差がないということ。名古屋場所では前頭二枚目の逸ノ城が初優勝した。年間六回の本場所にいかに自分の体調を合わせるか、けがや故障をいかに克服するかが、本場所の成績に直結しているといえる。

おのおのの力士がそのように精進する中、横綱や大関に対する世間の注文は厳しい。上位力士だから 成績が悪ければ批判されるのは仕方がないが、「だらしがない」「自覚に欠ける」「品格に欠ける」等の批 判が多いのはいかがかと思う。

私はもっとスポーツを純粋に楽しみたい。あれだけの大きな身体で激しい戦いを繰り広げる力士たちの頑張りに、毎日感動し、元気をもらっている。 有賀 千歳 記

<会員リレーエッセイ> ~噴水広場~

無理だと言われた社会復帰への挑戦は「でも、しか、だから」

村上 万里 (S60 教育)

人間、生きていればいろいろあります。全く想定外のことも突然襲ってきます。こういうのを青天の霹靂というのでしょうか、私の場合は、脳出血でした。誕生日が来ると定年になる年の春3月のことでした。以前からお誘いを受けていたゼネコンに転職入社して数日後の土曜日、家族はみんな外出していて自宅の部屋で一人のんびり過ごしていた時のことです。尿意を催しトイレに行って、出て来てそのままふらついて廊下で倒れ、起き上がることができませんでした。私は、羽織っていたフリースのジャケットのポケットに入れていたスマホで119に電話し、緊急搬送されて、そのまま入院することになったのです。

「良く眠ったなぁ」と思いながら目を開けると、目の前に妻と二人の娘の顔がありました。私のスマホを使っての救急隊の人からの連絡で駆けつけてくれていたのです。が、その場で妻から告げられたのは、「開頭ではなく、カテーテルを使った手術が可能だが、リスクを伴うので、そちらを希望する場合は署名しろと言われて、同意書に署名した」とか、「先生には社会復帰は難しいと言われたよ」といった絶望的な内容でした。確かに、歩くことはおろか、立つことも腰掛けることもしゃべることもままならず、左手は思うように動かない状態で、転職先でまともに仕事になるとは思えないのも事実でした。

そこから、左片麻痺との戦いが始まったのです。そんな私を妻は本当に必死に支えてくれました。リハビリテーション病院への転院手配から、入院期限後のリハビリ継続のための介護老人保健施設の手配、退所帰宅に備えるための自宅のバリアフリーリフォームの手配と、その間も当然、仕事をしつつ、毎日のように施設に顔を出してくれました。その間、私は頭が壊れたはずなのに、いろいろな思いがぐるぐると頭の中を駆け巡る「頭でっかちの大きな赤ん坊」と化しておりましたが、その面倒をいやな顔一つせずに見てくれました。

昼間は、ベッドか車イスで過ごすしかない 私は、退所後どうやって生きていくか、何を やるかできるか、そんなことばかり考えてい ました。その際のキーワードは「でも、しか、 だから」でした。それは、「こんな自分でもで きることはなんだろう」「こんな自分に<u>しか</u>で きないことはないだろうか」「こんな自分<u>だか</u> きないことはないだろうか」「こんな自分<u>だか</u> きないことはないだろうか」「こんな自分<u>だか</u> さないことはないだろうか」「こんな自分<u>だか</u> をないことはないだろうか」「こんな自分<u>だか</u> とりあえず、倒れる直前まで生業とし



ていた事業用不動産の売買情報の媒介による仲介業務とあとはおいおいそのうちに、でした。

そんなことを考えながら、何とか、老健を退所し、リハビリの一環で、車イスで駅あたりまでをうろうろしたり、イトーヨーカドーやイオンモールなどの商業施設に連れて行ってもらったりしているうちに、車イス移動でいろいろと気づくことがでてきました。バリアフリー化できていない様々なことに。

私は、「2020 TOKYO オリパラも近いのに、何も進んでいない。」「自分も健常な時には気にならなかったし、これこそ、でもしかだから」だなと。昔から、声高に叫ぶことに抵抗がなかった私は、それぞれの施設の管理者に提言しつつ、バリアフリー共生社会の実現に向けて世の中を動かしていこう、と決め、提言効果を高めるため、「当事者目線バリアフリー研究所」を立ち上げました。その最初の活動テーマは、多目的誰でもトイレにしました。それは、車イスの私は、いわゆる誰でもトイレしか利用できないのですが、心ない人たちが、別の目的でトイレを占拠し、私のような一般トイレ利用困難者が途方に暮れる事態に遭遇することが何度かあったためです。それで、その提言先は、まず最初に東久留米市に提言しようと決めました。市が設置管理している多目的誰でもトイレの本来の目的を達成するために「多目的優先トイレ」としてほしい旨を陳情したいと、東稲会で親しくなっていたS市議に相談し、担当部署をご紹介いただいたところ、まずは市役所内のトイレに優先表示を実施してくださいました。また、市が管轄する施設につき、それぞれの部署に通達もして「優先トイレ表示」をしていただきました。これに気をよくした私は、自分の生活圏の行政と商業施設に連絡を取り、提言しました。結果、すべてが前向きな姿勢で、時間が欲しい。すぐに対応するということでした。主な提言先は、国土交通省、東京都、都内の23 区すべて、近隣市、交通事業者等でした。特に国土交通省は、啓発キャンペーンを広めたいとのことで、ベクトルが同じことを相互確認した次第です。

そんなこんなで活動が成果を伴いだした時でした。妻の誕生日に、別フロアに住む娘とそこの孫娘がケーキを持ってきてくれて、みんなで夕食を囲みながらこれまでの活動の経過の話をしていました。東久留米市から始まり、妻の勤め先がある練馬区の対応や近所のイトーヨーカ堂のクイック対応などを振り返っていると、妻がひと言「それは、もう、あなたのライフワークね」と言ったのです。脳出血で一度終わりかけた私の人生ですが、大きな仕事を認識した瞬間でした。命拾いした残りの人生を賭して挑む仕事としては意義のあるものが見つかったと感じました。

それ以降も、当事者目線バリアフリー研究所のホームページや様々な SNS で情報発信を続けていたある日、以前から顔見知りで、SNS でつながっていたラジオのニッポン放送の社長から、村上の活動を取り上げたいと連絡をもらいました。自局の SDGs キャンペーンのネタとして良いと思うと。バリアフリートイレの適正利用の啓発が狙いだった私は渡りに舟の申し出に、これでさらに広がって、安心安全快適な共生社会を目指した活動にも弾みがつき、電車等のシルバーシートのように全国に広がって、誰でもトイレが優先トイレとなってくれることを願いながら、活動を続けていこうと思っています。キャッチコピーは「誰でもトイレはトイレのシルバーシートです。」「一般トイレ利用困難者専用」です。

当事者目線バリアフリー研究所ホームページ https://www.break-barrier.com/

◎編集後記

記録的な猛暑も一段落し、秋風が気持ちよい季節になりました。早朝の落合川の草むらから何度かコオロギの合唱が賑やかに聞こえます。いよいよスポーツの秋の到来ですね。自分のやりたいスポーツを少し無理してでもやってみませんか。ちょっとした身体の変化が気力の充実に繋がります。(有賀)

編集委員:有賀千歳(今回の担当)、片平るみ





東久留米稲門会HPへのアクセスは、 左記QRコードからできます。